

市議会だより

令和の時代を切り開く 新議会スタート



新たな市民の代表が決定

②ページ

予算審査特別委員会

⑥ページ

予算審査 予算を徹底チェック

⑧ページ

一般質問 7人が登壇

⑩ページ

第2回臨時会

新しい議会の構成が決定

令和元年第2回臨時会を5月8日に開催しました。臨時会では議長及び副議長の選挙をはじめ各常任委員及び議会運営委員の選任、一部事務組合議会議員の選挙などを行いました。



とくなが ひでとし
徳永 秀俊
(牛鶴)

2



なかやま ゆたか
仲山 寛
(須川)

1



か げ てつや
鹿毛 哲也
(馬田)

17

副議長



ほりお としひろ
堀尾 俊浩
(甘水)

18

議長

※写真右上の数字は議席番号です。



くまもと まさひろ
熊本 正博
(甘木)

4



きたがわ きよふみ
北川 清文
(三奈木)

3



こじま きよと
小島 清人
(小田)

6



かとう しょうじ
加藤 正二
(長田)

5



うちだ けいざう
内田 恵三
(千手)

8



さ さ き あきこ
佐々木 明子
(杷木久喜宮)

7

こあいさつ

立夏の候、市民の皆様におかれましては、お健やかに過ごしていただき、お慶び申し上げます。

令和元年5月8日の臨時会にて、議員各位の推挙により、議長並びに副議長に就任することになりましたことは、身に余る光栄であり、責任の重さを痛感しているところであります。

現在、朝倉市を取り巻く環境は厳しいものがあります。

一昨年の豪雨災害は、朝倉市に甚大な被害をもたらしましたが、国や県の支援を受け、復旧・復興に向けて懸命に取り組んでいる状況であります。長期にわたる取り組みになりますが、同時に「人口問題への取り組み」、「行財政改革」、「経済の活性化」など、多くの課題を抱えています。

朝倉市議会は夢のある朝倉市を次世代へつないでいくために、政策の立案や提言を行い、市民に信頼される議会運営に努めてまいります。

市民の皆様のお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、就任のご挨拶とします。



12

しばやま きょうこ
柴山 恭子
(堤)



11

あさお せいじ
浅尾 静二
(甘木)



10

なかしま ひでき
中島 秀樹
(桑原)



9

はんだ ゆうぞう
半田 雄三
(多々連)



16

さねふじ てるお
実藤 輝夫
(甘木)



15

てしま えいじ
手嶋 栄治
(三奈木)



14

かじわら こうじ
梶原 康嗣
(杷木池田)



13

おおば きみこ
大庭 きみ子
(甘木)

常任委員会及び議会運営委員会

◎委員長 ○副委員長

※最終ページに写真を掲載しております。

議会運営委員会

- ◎半田 雄三 大庭きみ子
- 佐々木明子 柴山 恭子
- 手嶋 栄治 小島 清人

建設経済常任委員会

- ◎柴山 恭子 手嶋 栄治
- 仲山 寛 梶原 康嗣
- 実藤 輝夫 内田 恵三

環境民生常任委員会

- ◎大庭きみ子 浅尾 静二
- 熊本 正博 半田 雄三
- 鹿毛 哲也 徳永 秀俊

総務文教常任委員会

- ◎小島 清人 中島 秀樹
- 佐々木明子 加藤 正二
- 堀尾 俊浩 北川 清文

一部事務組合等議員の選挙

一部事務組合の議会議員をあらたに選挙しました。

甘木・朝倉広域市町村圏事務組合議会議員(8名)

- 堀尾 俊浩 内田 恵三
- 鹿毛 哲也 加藤 正二
- 手嶋 栄治 北川 清文
- 半田 雄三 徳永 秀俊

甘木・朝倉・三井環境施設組合議会議員(7名)

- 堀尾 俊浩 小島 清人
- 鹿毛 哲也 熊本 正博
- 浅尾 静二 仲山 寛
- 内田 恵三

久留米市外三市町高等学校組合議会議員(2名)

- 小島 清人
- 佐々木明子

詳細かつ慎重な審査を

委員会付託案件

議案等の詳細な審査と結果の報告を委員会に委ねることを「委員会付託」といい、付託された委員会は審査の結果を本会議で報告します。ここでは各常任委員会で審査された案件等の一部を掲載しています。

3月定例会 平成31年度一般会計予算461億円を可決 昨年度に続き大規模な予算となる

会期日程

2月26日	◎開会 ○会期の決定 ○会議録署名議員の指名 ○施政方針 ○議案等の上程 ○提案理由の説明 ○予算審査特別委員会の設置 ○第2次総合計画審査特別委員会の設置 ○一部議案の審議 (質疑・討論・採決) ◇予算審査特別委員会・第2次総合計画審査特別委員会
27・28日	(考案日)
3月1日	○一般質問 (5人)
4日	○一般質問 (2人) ○議案等の質疑・委員会付託
5・6日	◇常任委員会
11日	◇第2次総合計画審査特別委員会 ○追加議案の上程 ○提案理由の説明 ○追加議案の質疑 ○追加議案の委員会付託
12日	◇予算審査特別委員会 ◇常任委員会
13～15日	◇予算審査特別委員会
18・19日	(事務整理日)
20日	○議案等の審議 (委員長報告・質疑・討論・採決) ○追加議案の上程 ○提案理由の説明 ○追加議案の審議 (質疑・討論・採決) ○諸般の報告 ◎閉会

平成31年第1回定例会は、2月26日に招集され、3月20日までの23日間の会期日程で開会しました。

開会日に市長が施政方針を述べ、33議案を上程し、提案理由の説明を行いました。また、決議案（天皇陛下御即位30年を祝す賀詞について）を上程し、同日可決しました。

一般質問は7名の議員が行い、執行部と積極的な議論を交わしました。平成31年度当初予算は予算審査特別委員会を設置し、また、第2次朝倉市総合計画も特別委員会を設置し、慎重な審査を行いました。

3月11日には、議案1件が追加上程され、上程された議案は、案件ごと追加上程され、審議の結果、同意し、本定例会を閉会しました。

また、人事案件1件が追加上程され、審議の結果、同意し、本定例会を閉会しました。

決議 天皇陛下御即位30年を祝す賀詞

天皇陛下におかせられましたは本年、御即位30年をお迎えになりました。

誠に慶賀にたえないところであります。

ここに朝倉市議会は、市民を代表して天皇皇后両陛下の益々のご健勝をお祈りするとともに謹んでお祝い申し上げます。

平成31年2月26日
朝 倉 市 議 会

杷木地域に防災拠点施設を 兼ねた集会施設が整備されます

総務文教常任委員会

3月定例会で付託された議案7件を審査しました。

★非常勤嘱託員等の通勤費用相当分の費用弁償を支給します

週5日勤務で通勤距離が2キロメートル以上の方は現行月2千円を費用弁償として4千円。週4日勤務で通勤距離が2キロメートル以上の方は現行月1600円を費用弁償として3200円支給します。

委員会では執行部の説明を了とし、全員異議なく、原案のとおり可決しました。

★手数料・使用料が改正されます
消費税が令和元年10月1日から10%に改定されることに伴い、手数料・使用料等が整備されます。

審査では、条例第34条において、年・条例番号が空白の中での議案審査はできないとして反対の意見がありました。対して、同時期の議案の提出における法制

執務のきまりであり、審査することに問題はない。消費税及び地方消費税に係る税率を改定することに伴う整備であり賛成する意見がありました。採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決しました。

※17ページ下段討論欄に議案の内容等を掲載しています。

★杷木地域に集会施設が整備されます
朝倉市過疎地域自立促進計画に杷木地域集会施設等建設事業を追加します。久喜宮地区に防災拠点施設を兼ねた集会施設の整備が計画されています。

委員会では執行部の説明を了とし、全員異議なく、原案のとおり可決しました。



集会施設建設予定の旧久喜宮小学校跡地

求められる国民健康保険 財政健全化 当初予算を可決

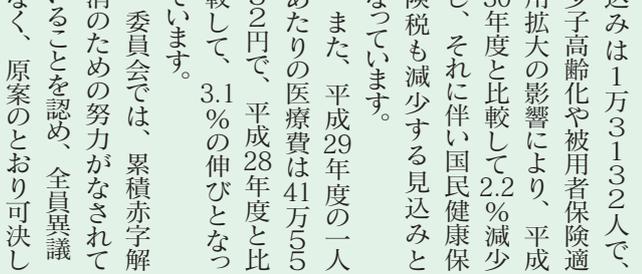
環境民生常任委員会

3月定例会で付託された議案11件を審査しました。

★平成31年度朝倉市国民健康保険特別会計予算
国民健康保険特別会計の事業勘定の予算総額は72億5664万円で、平成30年度当初予算と比較し、1%減少しています。これは主に国民健康保険被保険者数の減少によるものです。平成31年度の被保険者数の見込みは1万3132人で、少子高齢化や被用者保険適用拡大の影響により、平成30年度と比較して2%減少し、それに伴い国民健康保険税も減少する見込みとなつています。

また、平成29年度の一人あたりの医療費は41万5552円で、平成28年度と比較して、3.1%の伸びとなっています。

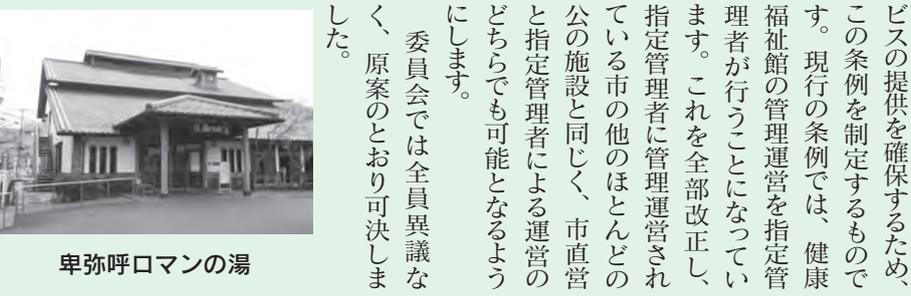
委員会では、累積赤字解消のための努力がなされていることを認め、全員異議なく、原案のとおり可決しました。



朝倉市健康福祉館条例の制定について

★朝倉市健康福祉館条例の制定について
朝倉市健康福祉館の安定的な管理運営及び公共サービスの提供を確保するため、この条例を制定するものです。現行の条例では、健康福祉館の管理運営を指定管理者が行うことになっていました。これを全部改正し、指定管理者に管理運営されている市の他のほとんどの公の施設と同じく、市営と指定管理者による運営のどちらでも可能となるようにします。

委員会では全員異議なく、原案のとおり可決しました。



単弥呼口マンの湯

平成31年度下水道事業及び 農地の復旧事業が進展

建設経済常任委員会

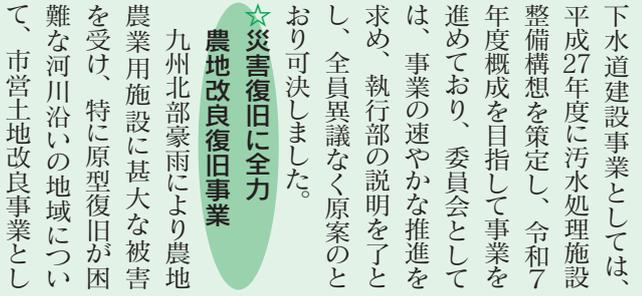
3月定例会で付託された議案12件を審査しました。

★平成31年度下水道事業会計予算を審査
主要な建設改良工事として、甘木・立石・馬田地区等の流域関連公共下水道管渠建設事業、朝倉・三奈木地区及び秋月地区の特定環境保全公共下水道管渠建設事業、市設置型浄化槽整備事業などを計画しています。下水道建設事業としては、平成27年度に汚水処理施設整備構想を策定し、令和7年度概成を目指して事業を進めており、委員会としては、事業の速やかな推進を求め、執行部の説明を了とし、全員異議なく原案のとおり可決しました。

★災害復旧に全力
農地改良復旧事業
九州北部豪雨により農地農業用施設に甚大な被害を受け、特に原型復旧が困難な河川沿いの地域について、市営土地改良事業として

土地改良法に基づく区画整理を行うものです。市内全体で15地区、約200haを19換地区に地区割りし事業を行う予定で、事業計画概要がまとまった「奈良ヶ谷川流域地区」「妙見川上中流域地区」「疋目川流域地区」の3地区について今回審査を行いました。3地区とも工事期間は令和元年度から令和3年度を予定しています。

委員会では、区画整理を行うことで、農地有効活用、農業生産基盤の早期復旧と再建が図られるよう、3議案とも全員異議なく、原案のとおり可決しました。



市営土地改良事業による区画整理を行います

予算審査特別委員会

一般会計予算規模は平成30年に引き続き約461億円

災害関連予算は実質約306億円

各事業等の優先度を検討しながら、
復旧・復興の着実な前進を

3月12日から15日までの4日間、予算審査特別委員会を開き、平成31年度の一般会計当初予算を審査しました。

平成29年7月九州北部豪雨災害発生から2年目の当初予算となり、昨年に引き続き、461億6千万円と大規模な予算編成となりました。平成30年度予算額471億6千万円と比較すると10億4百万円2・13%の減となっています。

災害等の関連予算額は今年度が約198億円、平成29・30年度からの繰越明許費等約108億円を合わせると平成31年度は実質約306億円となりました。

地方税は微増、普通交付税と臨時財政対策債は減となり、特別交付税は災害分を除く通常分のみとし、災害関連経費は財政調整基金

から29億円を繰り入れて財源調整をしています。

現在、災害の復旧・復興過程であり、大型事業を含め様々な事業を延期・凍結・中止している状況でありま

すが、引き続き、市の復旧・復興事業を着実に前進しつつ、災害関連事業以外においても財政状況を勘案して、各事業等の優先度を検討しながら、義務的経費も含め、効率の良い、そして効果のある行財政運営に取り組む必要があります。

審査では、財政状況や各事業の取り組みなどについて、多くの質疑が行われました。(質疑の一部を8ページから掲載しています)

委員会では、全会一致で原案のとおり可決しました。

「観光・食・農」魅力発信プロジェクト事業」に
597万円

秋月地区内の博物館や民間の飲食店等の展示品、商品等を携帯端末で閲覧できるようにシステムを整備し、朝倉市の魅力を発信します。

「地域コミュニティ活動支援事業」に
5085万円

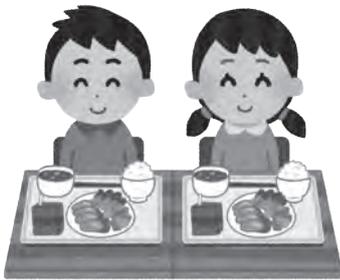
市内17地区の地域コミュニティ組織が行うコミュニティ活動に対して、地域コミュニティ活動助成補助金を交付するとともに、コミュニティ活動の支援や環境整備を行います。

「学童保育所建設事業」に
1億340万円

甘木II学童保育所と立石IV学童保育所建設工事、蜷城学童保育所建設工事実施設計業務委託を行います。

「小中学校給食費補助事業」に
1296万円

食材の値上がりなどにより、おいしく栄養バランスがとれた給食を提供するには給食材料費の実質的な値上げをする必要があります。今回、給食材料費を見直し、生徒一人あたり月300円値上げしますが、保護者の負担軽減のため、増額分を補助することで給食費の負担を現状のままとし、子育ての支援を図ります。



「防災士資格取得補助金」に
59万円

防災士の資格を取得される方のため、助成を行います。各コミュニティ自主防災会から一人、計17人分の資格取得に係る受講料等の2分の1を助成します。

「新規就農支援対策事業」に
97万円

更なる新規就農者の育成を図るため、新規就農者営農支援補助金と就農里親補助金を新たに設けます。

新規就農者営農支援補助金は地域担い手産地育成協議会が行う長期研修を受講し、市内で就農する方に対し、資機材購入費の2分の1、上限30万円を補助します。また、就農里親補助金は新規就農者を受け入れる認定農業者に対し、月1万円を補助します。



一般会計当初予算 461.6 億円 (前年：471.6 億円)
特別会計当初予算 145.2 億円 (前年：142.9 億円)
企業会計当初予算 55.4 億円 (前年：52.6 億円)

区 分	平成30年度 本予算額 (A)	平成31年度 当初予算額 (B)	対前年度比較	
			増減額 (B)－(A)	増減率
一般会計 (1)	471億6453万円	461億6000万円	△10億0453万円	△2.13%
特別会計 小計 (2)	142億9853万円	145億2283万円	2億2429万円	1.57%
住宅新築資金等貸付	675万円	738万円	63万円	9.36%
簡易水道	5922万円	3864万円	△2058万円	△34.75%
国民健康保険	76億1818万円	75億7063万円	△4754万円	△0.62%
事業勘定	73億4055万円	72億5664万円	△8391万円	△1.14%
直診勘定	2億7763万円	3億1399万円	3636万円	13.10%
後期高齢者医療	8億9796万円	9億1753万円	1957万円	2.18%
介護保険	57億1598万円	59億8816万円	2億7218万円	4.76%
工業用地造成事業	43万円	46万円	3万円	7.67%
企業会計 小計 (3)	52億6490万円	55億4816万円	2億8326万円	5.38%
工業用水道事業	5億2467万円	4億6824万円	△5643万円	△10.76%
水道事業	7億8530万円	9億4808万円	1億6278万円	20.73%
下水道事業	39億5492万円	41億3183万円	1億7691万円	4.47%
合計 (1) + (2) + (3)	667億2797万円	662億3099万円	△4億9698万円	△0.74%

※平成30年度は、6月補正後の本予算額を記載しています（国民健康保険特別会計の5月専決予算を除く）。

※企業会計の予算額については、収益的及び資本的支出の合計額です。

※万未満切り捨てのため、計が一致していません。

チェック



平成31年度の一般会計当初予算については、「予算審査特別委員会」を設置し、4日間の日程で審査を行いました。審査の中で行われた質疑と答弁を抜粋して紹介します。

Q 平成31年度から取り組む産後ケア事業の内容は

A 産婦人科医院、助産院で産後の健康管理や気力回復などの生活アドバイス等を行っていただくよう考えている

Q 妊婦支援事業において平成31年度から取り組む産後ケア事業はどのような内容なのか。

A 産後ケアについては、市内の産婦人科、助産院、そして、杷木・朝倉地域の方が

比較的に利用される久留米市田主丸の3つの施設に委託し、産後の健康管理及び気力回復などの生活アドバイス、沐浴等の指導を行っていただく予定としている。



Q 新規事業で防災士の資格取得助成を行うが女性の防災士も必要である

A 女性防災士の推薦も募っていききたい

Q 新規事業で防災士の資格取得助成を行うようにしている。1

コミュニティから一人の割り当てになると思われるが、災害時の対応を見ると様々な活躍をしていただかなければならない。避難所運営においては、避難されている方も女性など女性の防災士の必要性も感じている。男女問

わず推薦していただくよう市から要請していただきたい。

A 平成31年度は17名で予算計上しているが、最終的には各コミュニティで、男女1名ずつを計画している。

自主防災会に対する説明時にも、看護師の資格を持つ方は救命救急講習の免除もあるため、そうした説明を行いながら、女性防災士の推薦も募っていききたいと考えている。

Q 宅地耐震化推進事業による嵩上げ復旧とは

A 平成29年7月九州北部豪雨による被災宅地の現地再建支援を行うものである

Q 宅地耐震化推進事業内容に嵩上げ復旧とあるが、具体的にどのような事業なのか

A 平成29年7月九州北部豪雨を受け、朝倉市から要望を行ってきたもので、平成31年度から国で新しく事業化された。被災宅地の現地再建支援のため、一体的な嵩上げ、生活道路の工事等の支援を行うものである。



予算を徹底



秋月博物館と桜

Q 「観光・食・農」魅力発信プロジェクト事業の内容は

A マップ上の店舗、建物にQRコードを添付し、携帯端末で商品、展示物を確認できるようにする

Q 「観光・食・農」魅力発信プロジェクト事業の内容は

A 秋月に新しく、秋月博物館、あきづき市場という情報が増え、秋月のマップを作りなおす中で、従

来のホームページの構築とはアプローチを変え、マップ上のそれぞれ

の店舗や建物にQRコードを添付し、携帯端末で読み取っていたことで、提供されている商品や展示され

ているものが携帯端末で確認できる仕組みを作る。

関係課が知恵を出し合い、今後展開を考えていく初めの一歩になるものである。

Q 区の規模の見直しも必要ではないか

A 区の在り方として、何世帯が適当であるという考えは持っていない

Q 区の世帯数が大きな区と小さな区のそれぞれの数は。

A 各区会長からの報告（平成30年9月1日現在）では、全22区で1万8566世帯あり、そのうち世帯数の最大は立石

地区の堤区1210世帯、最少は松末地区の乙石区で6世帯である。

Q 市は災害、防災について、コミュニケーションを中心に話をする。住民に区、コミュニケーションに入っていた

だき防災の仕組みづくりをするためには、区のある程度の規模、その数字等を見直していかなければならないのではないか。

A 基本的に区の在り方として、何世帯が適当であるという考えは、市は持っていない。これは地域の地形にもよるし、様々な事情によるもので、それを固定化するのには現段階では難しいと考えている。

Q 子どもの居場所づくり支援事業の内容は

A 子どもたちが社会性を身につける場をつくる団体、個人を支援する

Q 新規事業で子どもの居場所づくり支援事業の目的と内容は。

A 地域の集会所等の施設を利用し、子どもたちが集まり、一緒に遊んだり食事したりすることで人間関係を高め、社会性を身につける場をつくる団体、個人を支援するため補助金を交付するものである。

Q この事業を広報し、本当に必要な地域で手を挙げていただきたいと考えるが、市の考え方は。

A 社会教育委員をはじめとする実行委員会をまず立ち上げ、そこで公募することを考えている。

平成31年度市長施政方針

並びに再建まちづくりを問う

質問者7人、傍聴者42人

一般質問は、年4回開催される定例会の中で行われます。ここに掲載したものは抜粋ですので、全文については、会議録を閲覧されるか、市議会のホームページでご確認ください。

富田 栄一 議員

質問項目

- 1 きれいな水の川のほとりの元の家近くに帰りたい人は、どのような計画をたてればいいのか。その時どんな支援があるのか
- 2 情報の無さと「営農・経営再開支援」について
- 3 出水期の二次災害は大丈夫か



Q 地形的に水が集まる所は、安全対策を充分やらなくてはいけない。また「早く避難を」と言われるが、

A 道目木に入る橋が仮設なので、義援金による50万円の家賃支援の対象になることを話しながら進める。

市の講演会では「ピンポイントの予報は非常に厳しい」との答弁だった。川も沢の整備もまだまだの道目木地区に帰って、市として「大丈夫」と言えるのか。

Q 「防災集団移転事業」についてどのように取り組もうとしているのか。

A 国が今計画中の新事業と防災集団移転事業。また、区画整理に伴う宅地の換地等、メニューを提示している。

「ります」という再建計画の提示ではないか。

A 期限がある基礎支援金、住宅金融支援機構融資期限などさまざまな支援策について再建のための点検をして対処している。

なる。議会承認後「中止」はできるのか。

A 「中止」は想定していない。

Q 朝倉市の強みと復興に向けての思いは

A 山、水、土ともに生きる朝倉で進めていく

「被災者がきれいな水の川のほとりに、どうやって戻ることができるのか」ずっと尋ねている。被災者に聞くことから次の段階へ「再建計画にAとBとCとDとあ

実施設計で費用が明らかに



朝倉市復興計画

寺内ダム治水機能強化についての対応は

A 国交省、水資源機構、利水者に呼びかける

各地区に応じた個別一人一人への伝達方法がある。

Q 各地区の事情は十分にわかると思うが、立石の1万を超過する住民へどのような方法で個別に情報提供できるか。

A 防災行政無線、防災メール・まもる君、巡回車、大雨時にはテレビのデータ放送。隣近所に情報を伝え合う地域としての取り組みも必要である。

柴山 恭子 議員

質問項目

- 1 平成 31 年度施政方針
- 2 スポーツ活性化に向けての対策
- 3 ダム治水計画強化について



Q ダム情報のインパクトが足りず、確実な避難行動に結びついていない。行動を促すための情報をどう住民に伝えるのか。

A 各コミュニティの伝達方法があり、防災訓練等で情報がどう伝わるのかを確認し、行動に結びつける。

Q 緊急時、住民へ情報を伝えるだけでなく、確実に伝わるよう変えていくことが重要である。

A 情報をきちんとつなげていくということが大変重要だと認識している。

Q 洪水調整機能を強化する寺内ダム治水機能強化についての対応は。

A 国交省、水資源機構に治水機能の充実を訴え、前

向きに対応している。朝倉市は、福岡都市圏や県南地域などの水源地としての役割を果たしている。

治水対策あつての水資源開発。恩恵を受けている関係団体にも呼びかけ、住民と一緒に佐田川、寺内ダムの治水機能が強化される対策の実現を目指す。

Q スポーツ施設の現状は。

A 水の文化村、原鶴分水路グラウンド復旧工事中であり、朝倉球場利用調整が必要となり利用者に不自由をかけている。

Q 異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水機能の強化を



異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水機能の強化を

Q 豪雨等による災害の危険に伴い避難して来た人々が、一定期間または緊急的に滞在できる場所として、指定避難所がある。平成29年度実績評価シートによると、その周知率が31.3%と低い。どうすれば周知率をアップすることができるか。

A さまざまな年齢の方に対してアンケートをした結果だが、低いと思っている。今後も自主防災マップやマイタイムライン、防災講座等で周知を図っていきたい。

Q 災害時に、自力で避難することが困難な避難行動要支援者を対象とする、避難行動要支援者ネットワーク台帳の作成が重要だと考える。朝倉市全域で台帳を作成しているか。

A 被災8地区で名簿の提出ができています。今年度は全ての地区を対象に、ネットワーク台帳の作成を依頼したいと考えています。



佐々木 明子 議員

質問項目

- 1 平成 31 年度市長施政方針について
- 2 次期出水期二次災害防止対策の取り組みについて
- 3 供与期限が迫る被災者への支援について

A 建設を凍結している十文字公園内の総合的体育施設が考えられるが、財政状況を勘案して順次方針を示していきたい。

Q 2月末で生活再建の見通しが立っていない被災世帯が162世帯ある。その被災者の多くが杷木周辺に住んでいる。復興推進室を杷木支所に異動できないか。

A 復興推進室の役割は、被災者支援と復興計画の進捗管理がある。本庁において総合調整を行っている。

Q 昨年7月の豪雨では、降雨量の多かった甘木地域において、ピーポット甘木での避難者の受け入れが困難だったと聞いた。甘木地域に、防災機能を備えたセンターを早急に建設する必

要があるのではないかと考えている。

Q 被災8地区で名簿の提出ができています。今年度は全ての地区を対象に、ネットワーク台帳の作成を依頼したいと考えています。

Q 昨年7月の豪雨では、降雨量の多かった甘木地域において、ピーポット甘木での避難者の受け入れが困難だったと聞いた。甘木地域に、防災機能を備えたセンターを早急に建設する必

要があるのではないかと考えている。

避難行動要支援者ネットワーク台帳は作成できたか

A 被災8地区で名簿の提出ができています



久喜宮地域コミュニティで防災訓練が実施されました

Q 市長施政方針の主な基本目標を問う

A 災害復旧・復興の加速と地方創生を同時に推進

災地における復興まちづくり総合支援事業として、防災講座や研修の開催、炊き出し等の訓練が活用計画である。

村上 百合子 議員

質問項目

- 1 平成31年度市長施政方針について
- 2 子育て支援対策について



Q 「災害や危機に強く、安全・安心が実感できるくらしの実現」について、久喜宮小学校跡地を活用しての災害拠点施設及び防災広場整備の規模と実施体系の考えを伺いたい。

A 久喜宮地区の防災拠点として整備するもので、被災地における復興まちづくり総合支援事業として、防災講座や研修の開催、炊き出し等の訓練が活用計画である。

Q 「次代につながる有効な環境の保全」について、市民協働のごみ分別を推進していますが、資源の再利用として生ごみリサイクルの拡大について伺いたい。

A 市民アンケート調査では、6割の方がもつとごみ削減できると回答している。バイオマスの構想など資源回収により10年後を見通した循環型社会の構築を目指していきたい。

児童虐待防止対策について

Q 児童虐待の事件が多発している。市内でも平成29年度22件の報告がある。発見しからの対応が一番肝心である。対応策を伺いたい。

A 検診事業や乳幼児全戸訪問事業、相談等で、早期発見に努めている。対応としては、児童相談所と連携して48時間以内を目視による児童安否確認を行い、一時保護等の対応や見守りを取り組んでいる。

子どもたちの未来に希望と活躍の場を



Q 産業政策マネージャーの実績を尋ねる。

A 進出企業が6社、移転拡張企業は8社、市内雇人数は180人、48件の民間地の紹介を行っている。今後も産業政策マネージャーの力を借りて、企業の確保を行っていきたい。

大庭 きみ子 議員

質問項目

- 1 市長施政方針より
- 2 豪雨災害復興について
- 3 虐待問題について
- 4 教育問題について



Q 災害後のまちづくりや、産業や観光など地域振興発展のために、地域おこし協力隊の活用をしてはどうか。

A 平成31年度に、導入について検討していく。

災害後の人口減少対策

Q 災害後の人口減少対策についてはどう考えているのか。

A 被災者の気持ちに立つて再建を進めている。出来るだけ元のコミュニティに戻れるように考えている。

児童虐待問題の取り組み

Q 朝倉市でも平成22年から平成29年までに3倍近く虐待相談件数が増えている。市長の考えを尋ねる。

A このような悲惨な虐待死亡事件が起きないように、取り組んでいく決意で

ある。
Q 子どもが虐待で命を落とすことのないように各課連携して取り組んでいただきたい。

A 子ども一人ひとりの人権が守られる人権意識の啓発や教育にも力を入れるべきではないか。

A 現在、朝倉市でも児童生徒を対象に緊急点検を行い、調査を行っている。対象児童は子ども未来課と連携して、一緒に取り組みを進めている。

守ろう！かけがえのない命



Q 産業や観光の振興についての考えを問う

A 産業政策マネージャーを雇用し誘致につなげている

朝倉市の公共交通を利用しやすくする努力は

地域公共交通活性化協議会で協議していく

カードを見せれば予約していなくても乗ることができないか。

和田 庄治 議員

質問項目

- 1 朝倉市地域公共交通活性化会議について
2 国民健康保険税について



平成30年度の地域公共交通活性化協議会の中で、美奈宜の杜では、コミュニティバスを利用する高齢者が全体で30人前後との報告があった。

予約制を基本としながらも、予め利用者を登録し、登録カードを持たせ、登録

国民健康保険税引き下げについて

また、運賃の値上げについては、コミュニティバスの運行が無くなるのは困るから、500円は少し困るが、200円から300円であればいいと思う。市の財政に多少でも寄与することになるだろうとの意見も出ているが、執行部はどのように考えているのか。

協議会等でのようなやり方が適当かということを確認して協議しているところである。

ほかの自治体でコミュニティバスを運行しているが、一緒に協議できないか。

コミュニティバスは路線バスの代替え措置である。

路線バスの事業者の一部補助をし、路線継続していたっている状況である。



使いやすい地域公共交通を

平成27年6月定例会で、広域化により国から出る補助で国民健康保険税が下がるとの回答だったが、現在どうなっているか。

朝倉市の国民健康保険は1人当たり医療費が高く、また、累積赤字を抱えている。保険者支援制度として平成27年度から1700億円財政支援の公的拡充を実施しているが、なかなか厳しく保険税を引き下げている状況である。

荒廃農地が広がる中、国庫補助等を受けて整備した農地を、地域の実情に

応じて農振除外できるようにならないか、再三質問してきたが。

市長会等を通じて国に要望してきたが、未だ回答はない。特に災害後は荒廃



稲富 一實 議員

質問項目

- 1 朝倉市の将来像について

が進むと思われるので、今後とも国や県に粘り強く、積極的に要望を続けていきたい。

維持管理は行われているが生産性が伴わない保全農地に対して、市としても特化した農政施策を打ち、果敢に取り組むべきでは。

豪雨災害を受け、農業行政、特に中山間地の樹園地は非常に厳しい状況である。農地をしっかりと守っていくことは、農業を発展させるために極めて大事な課題である。保全農地の活用及び災害復興支援については、県議会でも答弁がされており、県、市、農協などと一緒に取り組みを進め、市としても研究、バックアップを行いながら、しっかりと取り組んでいきたい。

筑後川水系ダム群連携事業について、市は事業者



荒廃していく樹園地の現状

保全農地に特化した農政施策に取り組みべきでは

県・市・農協が一体となって取り組みを進める

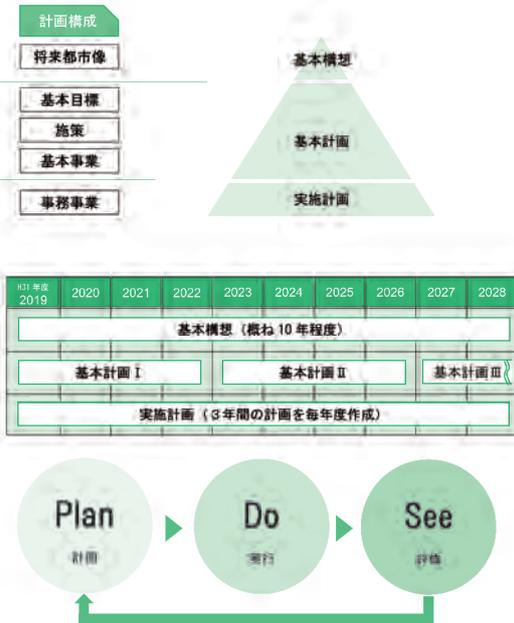
に対し、メリットや心配事を確認する質問書を出しているが、未だ回答がないとのことだが。

災害を受け、災害復旧を優先していることから、事業計画案が固まらず議論がストップしている。市として極めて重大な決断をする時期が来ると承知しており、「水源地朝倉」を守っていくためにも、皆さまの知恵を借りながら良い方向に進むように努力したい。

第2次総合計画審査特別委員会

人、自然、歴史が織りなす 水ひかる 朝倉

第2次朝倉市総合計画を可決



第2次総合計画審査特別委員会を設置し、第2次朝倉市総合計画の審査を行いました。

計画の概要

◎計画の位置づけ

第2次朝倉市総合計画は朝倉市の最上位計画に位置づけられます。

◎計画の構成と期間

朝倉市総合計画は基本構想、基本計画、実施計画により構成されます。

1. 基本構想

基本構想は、長期的な展望に立ち、目指すべき将来の市の姿やまちづくりの方向性を示すものです。

「人、自然、歴史が織りなす

水ひかる 朝倉」を目指すまちの姿（将来都市像）としています。

◎計画の進行管理

行政評価のサイクルである「PDSサイクル」を取り入れ、計画の進行管理を行います。

2. 基本計画

基本計画は、目指すまちの姿を実現するために左記の9つの「分野別施策の基本目標」を定めています。

基本目標を実現するための手段である29の「施策」を総合的に推進していくこ

「人、自然、歴史が織りなす 水ひかる 朝倉」を実現するための基本目標

⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
透明性・効率性の高い持続可能な行財政運営	生涯にわたる学び、活動の推進	笑顔があふれ、将来に夢や希望をもち飛躍できる子どもの育成	快適で住みよい都市基盤の充実	豊かな地域資源を活かした産業、観光の振興	次代につなぐ良好な環境の保全	誰もが健やかで、いきいきと暮らせる保健福祉の充実	人がつながり、支えあう活力ある地域社会の創造	災害や危機に強く、安全・安心が実感できる暮らしの実現

とが必要になります。

①災害からの復旧・復興、少子高齢化や人口減少、財政状況などの現状を踏まえて、111の基本事業のうち20の基本事業を今後4年間の「重点分野」として設定し、取り組みます。

横断的に取り組む重点分野
①災害からの復旧・復興

平成29年度に策定した復興計画と整合性を図りつつ、復旧復興に関連する「施策」においては、その分野にとらわれることなく連携させながら、全庁を挙げて横断的に取り組みます。

②地方創生の推進

平成27年度に策定した総合戦略に関連する「施策」についても、その分野にとらわれることなく連携させながら、市全体で「地方創生」に取り組みます。

委員会の審査

委員会では、第2次朝倉市総合計画の策定に当たって、パブリックコメントなどによる市民の意見を踏まえ、かつ、まちづくり審議会において十分な議論がなされていること。また、復興事業と地方創生事業についても横断的に取り組む重点分野として進められていくことから、全員異議なく原案のとおり可決しました。

3月補正予算の概要

《一般会計》	△82億8,895万円
※下記以外に既定経費の減額や災害復旧費の増減額等があります	
《一般会計補正予算の主なもの》	
・減債基金積立金	4億円
・公共施設等整備基金積立金	3億5,000万円
・財政調整基金積立金（一般寄附金）	3,340万円
・生活保護費の前年度事業費確定に伴う国への返還金	1億3,691万円
・障がい福祉サービス事業費等	9,900万円
・臨時福祉給付金事業費確定に伴う国への返還金	1,322万円
・介護保険特別会計繰出金	251万円
・福祉基金積立金（一般寄附金）	200万円
・災害公営住宅建設事業費	5億1,342万円
・公営住宅災害復旧事業費	7,555万円
《住宅新築資金等貸付特別会計》	143万円
《国民健康保険特別会計 事業勘定》	△502万円
《後期高齢者医療特別会計》	1,424万円
《介護保険特別会計》	1,822万円
・施設介護サービス給付費	5,000万円
《工業用地造成事業特別会計》	266万円
《水道事業会計》	△6,894万円
《下水道事業会計》	△1億2,634万円

行政視察報告 議会運営委員会

平成31年2月4日、近隣の自治体である、太宰府市議会及び筑紫野市議会を視察しました。

内容は、「議会報告会の開催状況について」、「議会運営全般について」、「議会基本条例の検証について」等です。現状を報告していただき、課題やその解決のための取り組みについて研修することができました。

議会報告会については、それぞれの議会において、回数を重ねる毎に、新たな課題が出てきており、その課題を解決するために、ワールドカフェ形式やワークショップ形式にしたり、テーマごとの意見交換を行うなど、様々な検討をされており、大変参考になるものでした。

議会での審議状況や行政情報についての説明責任を果たしながら、議会の活動や市政に対する意見や提言などを直接市民からお聞きすることにより、議会の監視能力及び政策提言機能の強化・充実に努めていかなければならないと思いました。

「議会報告会を開催する事で市民との交流も出来、楽しい報告会ができた」という報告もあり、「参加して良かった、楽しかった」と思ってもらえるような議会報告会を目指していきたいと思いました。

朝倉市は、平成27年に議会基本条例を施行して、5年が過ぎようとしています。現状の評価と課題を検証し、議会の機能をさらに発揮するよう、努めて行かなければならないと思います。

議会での審議状況や行政情報についての説明責任を果たしながら、議会の活動や市政に対する意見や提言などを直接市民からお聞きすることにより、議会の監視能力及び政策提言機能の強化・充実に努めていかなければならないと思いました。



太宰府市にて

人事案件

3月定例会で、次の方の推薦について同意しました。

- 人権擁護委員
星野 洋子 氏
(須川)

3月定例会で審議した議案等の結果です

◎…全会一致
○…賛成多数
※…討論あり

議案番号	議案の件名	議案の内容	
総務文教常任委員会			
第19号議案	朝倉市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	非常勤の嘱託員等に対し、通勤費用相当分の費用弁償を支給するため、規定の整備を行うもの。	◎可決
第20号議案	朝倉市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	任意団体及び公金の着服・不正使用事件の発生を受け、市長及び副市長がその責任を明らかにするため給料を減額するもの。 市長 4月給料 30%減額、副市長 4月給料 20%減額	◎可決
第21号議案	朝倉市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	遠方から通勤する災害等支援職員の通勤手当について、特別料金等相当額を支給するもの。	◎可決
第22号議案	朝倉市手数料条例等の一部を改正する条例の制定について	社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律及び社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための地方税法及び地方交付税法の一部を改正する法律により、消費税及び地方消費税に係る税率が平成31年10月1日から10%に改定されることに伴い、朝倉市手数料条例ほか33条例に定める手数料、使用料等を整備するもの。	※○可決
第26号議案	朝倉市過疎地域自立促進計画(杷木地域)の変更について	朝倉市過疎地域自立促進計画に杷木地域集会施設等建設事業を追加するもの。	◎可決
第32号議案	財産の処分について	下三奈木自治会に公民館用地を無償で処分するもの。 朝倉市三奈木603番1 宅地525.24㎡	◎可決
第33号議案	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び福岡県市町村職員退職手当組合同規約の変更について		◎可決
環境民生常任委員会			
第2号議案	平成31年度朝倉市住宅新築資金等貸付特別会計予算について		◎可決
第4号議案	平成31年度朝倉市国民健康保険特別会計予算について		◎可決
第5号議案	平成31年度朝倉市後期高齢者医療特別会計予算について		◎可決
第6号議案	平成31年度朝倉市介護保険特別会計予算について		◎可決
第12号議案	平成30年度朝倉市住宅新築資金等貸付特別会計補正予算(第1号)について		◎可決
第13号議案	平成30年度朝倉市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について		◎可決
第14号議案	平成30年度朝倉市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について		◎可決
第15号議案	平成30年度朝倉市介護保険特別会計補正予算(第2号)について		◎可決
第23号議案	朝倉市学童保育所条例の一部を改正する条例の制定について	甘木Ⅱ学童保育所及び立石Ⅳ学童保育所を平成32年4月1日から公の施設として設置するもの。	◎可決
第25号議案	朝倉市健康福祉館条例の制定について	朝倉市健康福祉館の管理運営を、市または市長が指定する法人等のいずれも可能とするもの。	◎可決
第28号議案	朝倉市自殺対策計画の策定について		◎可決
建設経済常任委員会			
第3号議案	平成31年度朝倉市簡易水道特別会計予算について		◎可決
第7号議案	平成31年度朝倉市工業用地造成事業特別会計予算について		◎可決
第8号議案	平成31年度朝倉市工業用水道事業会計予算について		◎可決
第9号議案	平成31年度朝倉市水道事業会計予算について		◎可決
第10号議案	平成31年度朝倉市下水道事業会計予算について		◎可決

3月定例会で審議した議案等の結果です

◎…全会一致
○…賛成多数
※…討論あり

議案番号	議案の件名	議案の内容	
建設経済常任委員会			
第16号議案	平成30年度朝倉市工業用地造成事業特別会計補正予算（第1号）について		◎可決
第17号議案	平成30年度朝倉市水道事業会計補正予算（第3号）について		◎可決
第18号議案	平成30年度朝倉市下水道事業会計補正予算（第3号）について		◎可決
第24号議案	朝倉市水道法施行条例の一部を改正する条例の制定について	学校教育法の一部改正により専門職大学が創設されること等に伴い、布設工事監督者及び水道技術管理者の資格基準を定める規定を改正するもの。	◎可決
第29号議案	土地改良事業計画の概要について（奈良ヶ谷川流域地区）	平成29年7月九州北部豪雨に伴う各地区における農地改良復旧事業を市営土地改良（区画整備）事業として実施するもの。	◎可決
第30号議案	土地改良事業計画の概要について（妙見川上中流域地区）		◎可決
第31号議案	土地改良事業計画の概要について（疣目川流域地区）		◎可決
予算審査特別委員会			
第1号議案	平成31年度朝倉市一般会計予算について		◎可決
第2次総合計画審査特別委員会			
第27号議案	第2次朝倉市総合計画の策定について		◎可決
その他			
決議案第1号	天皇陛下御即位30年を祝す賀詞について		◎可決
第11号議案	平成30年度朝倉市一般会計補正予算（第4号）について		◎可決
第34号議案	平成30年度朝倉市一般会計補正予算（第5号）について		◎可決
第35号議案	人権擁護委員の候補者の推薦について		◎同意

賛否の分かれた議案

【賛成(○)、反対(×) ※中島秀樹議長は賛否同数のとき以外は表決に参加しません。】

議員名	1 渡辺 毅	2 和田 庄治	3 小島 清人	4 佐々木 明子	5 重松 一英	6 鹿毛 哲也	7 半田 雄三	8 堀尾 俊浩	9 稲富 一實	10 浅尾 静二	11 柴山 恭子	12 大庭きみ子	13 富田 栄一	14 村上百合子	15 手嶋 栄治	16 欠 番	17 梶原 康嗣	18 中島 秀樹
議案番号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○		○	△
第22号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○		○	△

討 論

議案等の審議で
行われた討論の
概要です

【第22号議案】

朝倉市手数料条例等の一部を改正する条例の制定について

※本議案は消費税及び地方消費税に係る税率が改定されることに伴い、朝倉市手数料条例ほか33条例に定める手数料、使用料等を整備するものです。

本議案中、第34条に本定例会に同時提出された第25号議案に係る規定があり、本文は「第34条 朝倉市健康福祉館条例（平成 年朝倉市条例第 号）の一部を次のように改正する（以下省略）」となっております。

反 対

○第34条は、第25号議案が議会で審議されていない条例であるので、括弧書きの年、条例番号が空白のこととだが、一つ一つ審議を丁寧に行うという心構えが必要であり、このままでは審議できないと考え、反対。

賛 成

○第34条の括弧書きの年、条例番号が空白であることについては、本定例会において、関連する第25号議案が上程されていることから、議決後に交付手続きを経て付されるものであり、法制執務のきまりであるとのことである。したがって、年、条例番号が空白の中での審査であっても何ら問題がないと考える。

本議案は消費税及び地方消費税に係る税率を改定することに伴い規定の整備を行うものであり、賛成。

常任委員会及び議会運営委員会 ◎委員長 ○副委員長

環境民生常任委員会

徳永 秀俊 ◎大庭きみ子
浅尾 静二 ◎熊本 正博
鹿毛 哲也
半田 雄三



総務文教常任委員会

堀尾 俊浩 ◎小島 清人
中島 秀樹
加藤 正二 ◎佐々木明子
北川 清文



議会運営委員会

小島 清人 ◎半田 雄三
手嶋 栄治
大庭きみ子 ◎佐々木明子
柴山 恭子



建設経済常任委員会

梶原 康嗣 ◎柴山 恭子
手嶋 栄治
実藤 輝夫 ◎仲山 寛
内田 恵三



6月議会 会期日程(予定)

- 6月14日 ◎開会
 - ◎会期の決定
 - ◎会議録署名議員の指名
 - ◎議案等の上程
 - ◎提案理由の説明
- 17・18日 (考案日)
- 19・20日 ○一般質問
- 21日 ○一般質問
 - 議案等の質疑
 - 議案等の委員会付託
- 24～26日 ◇常任委員会
- 27・28日 (事務整理日)
- 7月1日 ○議案等の審議
 - (委員長報告 質疑・討論・採決)
 - 諸般の報告
 - ◎閉会

編集後記

新元号「令和」ゆかりの地大宰府では梅花の宴を催した大伴旅人の邸宅跡と推定される坂本八幡神社に多くの人が訪れています。九州北部豪雨での被災者のための分譲住宅建設に伴う旧志波小学校の発掘調査がはじまりました。「朝倉」の名は「白村江の戦い」で斉明天皇が西下し、大本営を置いたことに由来しますが、その場所はいまだ特定されていません。志波は「朝倉宮」推定地の一つで期待がふ

くらみます。4月に実施された朝倉市議会議員選挙では、24人が立候補、18



人が新たに選出され、その中から6名が新人を中心に広報委員となりました。平成から令和へのスタートです。よろしくお願ひします。

広報委員会

委員長

副委員長

委員

内田 恵三
加藤 正二
熊本 正博
北川 清文
徳永 秀俊
仲山 寛

6月定例会の会期日程は、6月7日(金)開催予定の議会運営委員会に変更になる場合があります。